

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜城北高等学校 学校運営協議会（第1回）
- 2 開催日時 令和5年5月31日（水） 13:30～15:30
- 3 開催場所 岐阜城北高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	神谷 政人	岩野田まちづくり協議会	事務局員
副会長	河野 隆	はなぞの北幼稚園	園長
委員	菊池 啓子	中部学院大学短期大学部	教授
	福田 健二	三田洞地区自治会長	
	中村 有希	ファッションデザイナー	
	山田 和枝	本校PTA副会長	
学校側	下平 義広	校長	
	田内 俊文	教頭	
	柴田 幸美	教頭	
	車戸 祐介	教務主任	
	福島 和世	生徒指導部長	
	井口 貢志	進路指導部長	
	大西 信雄	総合学科長	
	杉山 福美	生活デザイン科長	

5 会議の概要（協議事項）

(1) 令和5年度の指導方針

- ・スクール・ポリシー
- ・学校経営計画
- ・教務部の重点と具体的取組
- ・生徒指導部の重点と具体的取組
- ・進路指導部の重点と具体的取組
- ・総合学科の重点と具体的取組
- ・生活デザイン科の重点と具体的取組

(2) 意見

意見1：今の岩野田小学校では宿題がなく、児童生徒の自主性に任せた学習をしているようであるが、高等学校ではどうか。

⇒小中学校の授業や取組については、高校にも非常に参考になる。高校生は自分で情報収集するなどして、学習に取り組めるとよいが、本校の生徒の実態を見ると、丁寧に対応する必要があると感じる場面もある。目の前のことに一生懸命になれるような指導をしていきたい。

意見2：ICTについて、現在大学ではペーパーレスになっている。大学に入学してくる学生たちは、ICTの活用について基礎的な知識があるものと思っている。高等学校での手厚い指導に慣れている学生は、ペーパーレスになっても資料がもらえらると思いい込んでいる。これは一例であるが、自分で考え行動できるようになるとよい。

意見3：通級指導とはなにか、教えてほしい。

⇒個別支援計画をもった生徒に対し、希望制でひと月に2回、外部の専門教諭が来校しキャリア指導や学習指導を行うものである。

意見4：地域の行事に参加し活躍することで、生徒はとても成長する。多くの方の力を借り見守ることで、自ら活動する力を育成できるとよい。さらに、地域の行事に参加し、児童生徒や学生、地域の方が交流することで、それぞれの学校の魅力も発信できるし、地域のことを知ることができる。いずれは社会人として地域で活躍するというお互いがウィンウィンの関係でありたい。

意見5：現在、職場内でコミュニケーションを苦手とする若者がいる。コミュニケーションの取り方を学生時代にやしなうことで、社会に出たときにとっても役立つ。人とのつながりを大切にできる人になるよう、学生の時に指導をお願いしたい。

意見6：社会人になっても遅刻をしたり、始業間近に出勤したりするものがある。早く出勤する意義を説明しないと分からない者もいる。人とのつながりの大切さや社会人として身に付けておくべきことについては、しっかりと指導するとよい。

意見7：あいさつ運動に参加したことがあるが、こちらからの声掛けに返事が返ってくる場合もあるが、素通りをする生徒も先生もいる。声が聞こえなかったのかもしれないが、しっかりとあいさつができるとよいと思う。

意見8：生活デザイン科の生徒もワープロ部に所属し活動しているので、技能を高められ大変うれしく思っている。両学科の特色を生かした学びが実践できていて頼もしい。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会において、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。
- ・第2回では、「生徒及び保護者を対象とするアンケート」の結果や実際に授業を参観したうえで意見、助言等を得る予定である。